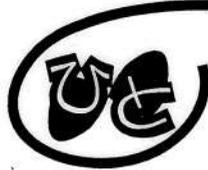


ヴァンダナ・シヴァさん



来日したインドの
環境科学者

反グローバル化の論
客。水や食物、種など生
命の循環を女性になぞら
え、それを科学や暴力に
よって支配しようとする

1952年生ま
れ。カナダで博士号
(量子力学)取得。
著書に「緑の革命と
その暴力」「バイオ
パイラシー」など。

生命に対する海賊行為

家父長的な暴力と闘う

「米国のイラク攻撃は、ドメスティック・バイオレンスと同じ構造を持っています。他者が自由に生きることを恐れ、絶対的な力を見せつけようとするシグナルです」

動きに「家父長制」とい
う言葉を当て対抗する。
「この言葉には二つの
顔があります。一つは軍
隊による戦争、もう一つ
は多国籍企業によるグロ
ーバリゼーション」
インド固有の種子や農
法が多国籍企業の知的所
有権で囲い込まれたり、



水や農薬を大量に使う過
伝子組み換え作物の栽培
のために借金苦で自殺す
る農民を見てきた。これ
らを「生命に対する海賊
行為」として、イラク攻
撃と同様の脅威と語る。
若い日、インド初の核
燃料施設の研修生だっ
た。その喜びを姉に語る
た。愕然とした。核物理
学の知識には自信があっ
たが、それが生物に及ぼ
す影響は知らなかった。
「科学の暴力は、行為
と結果が分断されている

ことから起る」。科学
技術が生態系に及ぼす影
響を包括的に考えずには
いられなくなった。82年
に自身の研究所を設立
し、91年には種子バンク
を設立した。近年は「種
の学校」を開き、世界各地
の市民と対話している。
「地球と人々を破壊す
るシステムから、自分た
ちを解放したい。そし
て、持続可能な未来を作
りたい」

文・中島みゆき
写真・根岸基弘